

えりも岬緑化60周年記念事業 2013 森と海のフェスティバル

えりも岬緑化事業は昭和28年から本格的に始まり平成25年に60周年を迎えました。これを記念し、6月8日及び9日に「2013 森と海のフェスティバル」が行われました。

8日は、えりも岬・風の館で緑化事業の歴史の上映、パネル・絵画展、今後のえりもの森林整備活動に係る「えりも岬の緑を守る会、日高南部森林管理署」「一般財団法人セブン-イレブン記念財団、えりも岬の緑を守る会」それぞれの協定の調印式を行いました。その後、「森林づくり体験」が行われ、小学生を中心にカミネッコンをつくり、高台の国有林内にハンノキなどのカミネッコン苗木210本を植樹し、第一展望台遊歩道を散策して1日目は終了しました。約100人が参加し、調印式では協定を結ぶ意味を知った人が「とても歴史的な瞬間に立ち会えて良かった」とおっしゃっている人がいました。また、遊歩道の散策では緑化事業の歴史の上映を見てすぐだったためか草本緑化のみの場所を見学しても「昔はこの草もなく土が飛んでいたなんて、本当に住むのが大変そうだ。この草だけでもすごい成果だ」「あの低いクロマツも耐えて耐えて成長しているすごいクロマツなのですね」と感動していました。

9日は、小中学生、高校生、漁業関係者を含めたえりも町民、地元以外の参加者、セブンイレブン関係者合わせた約500人が参加してクロマツの植樹とマツカワ稚魚の放流を行いました。当日は稀に見る晴天であり、大人も子どもも汗を流しながらも真剣かつ丁寧に植樹していました。「大人になってからここがどうなっているか見るのが楽しみ」「海と森林の強いつながりに驚いた。」「今日少し植えただけでとても疲れた。今までえりものにクロマツを植えていた人たちはすごい」と、えりも緑化事業の歴史とこれからのえりもの森林づくりについて考える良い体験になったと感じられました。



調印式は人が会場から溢れるほど



カミネッコン苗木植樹～大きくなれ～



遊歩道散策～あの木は何ですか？～



マツカワ稚魚放流～いつか戻っておいで～



子どもも大人も笑顔で植樹～立派な森林になれ！！～